

目次

広島大学大学院医歯薬学総合研究科, 歯学部及び広島大学病院 (歯科領域)

○創生医科学専攻・探索医科学講座		
・生体材料学研究室	1	頁
・口腔生化学研究室	5	頁
・口腔生物学研究室	10	頁
・細菌学研究室	12	頁
○創生医科学専攻・病態探究医科学講座		
・口腔生理学研究室	17	頁
・歯科薬理学研究室	19	頁
○創生医科学専攻・先進医療開発科学講座		
・口腔顎顔面病理病態学研究室	24	頁
・歯周病態学研究室及び口腔維持修復歯科 (歯周病診療科)	31	頁
○展開医科学専攻・病態情報医科学講座		
・粘膜免疫学研究室	35	頁
・歯科放射線学研究室及び口腔再建外科 (歯科放射線診療室)	37	頁
○展開医科学専攻・病態制御医科学講座		
・口腔成長・発達生物学研究室	42	頁
・歯科麻酔学研究室及び口腔再建外科 (歯科麻酔科)	45	頁
○展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座		
・保存修復学研究室及び口腔維持修復歯科 (むし歯・変色歯診療室)	48	頁
・口腔外科学研究室及び口腔再建外科 (口腔顎顔面再建外科)	52	頁
・先端歯科補綴学研究室及び口腔維持修復歯科 (口腔インプラント診療科)	60	頁
・歯科補綴学研究室及び口腔維持修復歯科 (咬合・義歯診療科)	67	頁
・歯科矯正学研究室及び口腔健康発育歯科 (矯正歯科)	74	頁
・小児歯科学研究室及び口腔健康発育歯科 (小児歯科)	85	頁
○口腔保健・口腔保健衛生学講座		
・社会歯科保健学	90	頁
・チーム歯科医療学	92	頁
・口腔保健管理学	97	頁
○口腔保健・口腔保健工学講座		

・基礎口腔科学	101	頁
・生体材料工学	103	頁
・口腔機能修復学	106	頁
○中央研究室	110	頁
○歯系総合診療科（口腔総合診療科）	112	頁
○口腔健康発育歯科（予防歯科）	116	頁
○口腔健康発育歯科（障害者歯科）	119	頁
○特殊歯科総合治療部（言語治療室）	122	頁
○口腔検査センター	124	頁
○歯科技工室	131	頁
○歯科衛生室	133	頁
○歯科診療所	135	頁
○医療情報室	137	頁

AADR, Orlando, USA, 2006.

- 2 : 重粒子線の骨代謝におよぼす影響：澤尻昌彦，野村雄二，滝波修一，谷本啓二：重粒子がん治療装置共同利用研究成果発表会，(千葉)，2006
- 3 : 新世代「接着理論」の展開 — レジン層の強度低下 (hybrid interface 理論) —：若狭邦男，宇野滋，平田伊佐雄，岡崎正之：第47回日本歯科理工学会，(東京)，2006
- 4 : チタン-リン酸化アミノ酸誘導体界面反応のナノレベル解析：平田伊佐雄，日浅 恭，阿部泰彦，吉田靖弘，鈴木一臣，赤川安正，岡崎正之：第47回日本歯科理工学会，(東京)，2006
- 5 : 生体骨類似炭酸アパタイトコラーゲンスカフォールドの創製：横田理絵，林 英貴，平田伊佐雄，岡崎正之：広島大学歯学会総会，(広島)，2006
- 6 : 自己組織化単分子膜の最外表面組成の細胞機能への影響：布施吉彦，平田伊佐雄，栗原英見，岡崎正之：広島大学歯学会総会，(広島)，2006
- 7 : Detection of chemical bonding at the adhesive biomaterial-hydroxyapatite interface : Van Meerbeek B, Yoshida Y, Nakayama Y, Hirata H, Endo K, Okazaki M, Suzuki K : 84th IADR (Brisbane), 2006.
- 8 : Nano-evaluation of interface strength in bonding biomaterials : Wakasa K (Invited Distinguished Lecture) : ICCE/14(Boulder), 2006.
- 9 : 生体材料への応用を目指した炭酸アパタイトの結晶学的性状：林 英貴，横田理絵，平田伊佐雄，岡崎正之：日本歯科理工学会近畿・中四国支部夏期セミナー，(四条畷)，2006
- 10 : 重粒子線の骨代謝におよぼす影響：澤尻昌彦，野村雄二，滝波修一，谷本啓二：日本放射線影響学会第49回大会，(札幌)，2006
- 11 : Mg含有炭酸アパタイト複合体の細胞接着特性と骨形成能：岡崎正之，平田伊佐雄：第9回日本組織工学会，(京都)，2006
- 12 : 硬組織バイオマテリアルの現状と将来展望：岡崎正之：化学工学会第38回秋季大会シンポジウム<バイオメディカルマテリアルの最前線>「展望講演」(福岡)，2006
- 13 : 歯工連携 現在と未来-II：岡崎正之：日本歯科技工学会第28回学術大会シンポジウム，(広島)，2006
- 14 : Biocompatibility of Mg-containing CO₃Ap-collagen Composite as a Hard Tissue Biomaterial : Okazaki M. (Invited lecture) : The 11th IMgS2006, (Kashikojima), 2006.
- 15 : カエル初代培養肝細胞を用いた in vitro 試験系によるフタル酸エステルのエストロゲン

受容体の影響評価：三好庄子，野村雄二，ベールヒジメール，澤尻昌彦，谷本啓二，岡崎正之：第47回日本歯科理工学会，(東京)，2006

口腔生化学講座

(1) 職員並びに学生

教授 : 加藤幸夫
助教授 : 能城光秀
講師 : 河本健
助手 : 藤本勝巳
大学院生 : 本田清昌, 上嶋太一
事務補佐員 : 倉本美佐乃

(2) 主な研究活動

- 1: 間葉系幹細胞の基礎と臨床
- 2: 軟骨細胞の分化機構
- 3: 分子時計系の解明

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Effects of overexpression of basic helix-loop-helix transcription factor Dec1 on osteogenic and adipogenic differentiation of mesenchymal stem cells. : Iwata T, Kawamoto T, Sasabe E, Miyazaki K, Fujimoto K, Noshiro M, Kurihara H, Kato Y : European Journal of Cell Biology, 85,423-431,2006.
- 2: Transplantation of autologous rabbit bone marrow-derived mesenchymal stem cells expanded in Vitro with FGF into joint defect with hyaluronic acid sponge. : Kayakabe M, Tsutsumi S, Watanabe H, Kato Y, Takagishi K : Cytotherapy 8(4),343-53,2006.
- 3: 57Am in the bHLH transcription factor DEC1 is essential for the suppression of CLOCK/BMAL2-mediated transcription. :

ための情報基盤の確立

5 : 基盤研究B分担(新規)

6 : 平成19年度片岡教育研究助成金・藤原理・抗MPSA作用を持つ溶菌酵素 AFD-1

病態探究医科学講座（口腔生理学）

（1）職員並びに学生

教授：柴 芳樹

助教授：廣野 力

助手：杉田 誠 岩佐 佳子

大学院生：大石 洋江、新谷 隆英、金剛 寛泰、原 久美子、丸山 みかね

38, 113-123, 2006.

2 : 脊髄の痛覚伝導における血小板活性化因子(PAF)の役割:土肥敏博, 森田克也, 森岡徳光, Md. Joynal Abdin, 北山友也, 北山滋雄, 仲田義啓:日本薬理学雑誌 127, 18-24, 2006.

3 : 脊髄痛覚伝達制御における $\alpha 7$ 型ニコチン受容体の役割:土肥敏博, 森田克也, 森岡徳光, 北山友也, 北山滋雄, 中嶋敏勝:平成 17 年度喫煙科学財団研究年報, 558-563, 2006.

C) 著書

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

創生医科学専攻・先進医療開発科学講座（口腔顎顔面病理病態学研究室）

（１）職員並びに学生

教授 : 高田 隆
准教授 : 宮内睦美
講師 : 工藤保誠（学内）
助教 : 佐藤 淳, 北川雅恵（３月まで）
大学院生 : 岡 広子, 北島正二郎, 飯塚新二, 坂本宜也子, B.S.M.Samadarani Siriwardena,
川添祐亮, Mohammad Reza Keikhaee, 齋広瑩
研究生 : Elsayed Deraz
客員研究員 : Ashraf Gaafar, Mohammed Armed

（２）主な研究活動

- 1 : 口腔扁平上皮癌の増殖・進展に関する分子病理学的研究
- 2 : 歯周組織の再生機構に関する実験病理学的研究
- 3 : 歯周組織の破壊機構に関する実験病理学的研究
- 4 : 歯原性および唾液腺腫瘍の細胞分化と診断基準に関する研究

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Characteristics of periodontal ligament subpopulations obtained by sequential enzymatic digestion of rat molar periodontal ligament. : Kaneda T, Miyauchi M, Takekoshi T, Kitagawa S, Kitagawa M, Shiba H, Kurihara H, Takata T : Bone. 38(3), 420-6, 2006.
- 2 : Characterization of established human cementoblast-like cell lines from human cementum lining cells in vitro and in vivo. : Kitagawa M, Kitagawa S, Kudo Y, Ogawa I, Miyauchi M, Tahara H, Ide T, Takata T : Bone. 39(5),1035-42, 2006.
- 3 : Platelet-derived growth factor enhances proliferation and matrix synthesis of temporomandibular joint disc-derived cells. : Haraoka K, Tanaka E, Takata T, Miyauchi M, Aoyama J, Kawai N, Dalla-Bona D A, Yamano E, Tanne K : Angle Orthod. 76(3),486-92, 2006.
- 4 : Establishment and characterization of a spindle cell squamous carcinoma cell line. : Kudo Y, Ogawa I, Kitagawa M, Kitajima S, Siriwardena S, Aobara N, Matsuda C, Miyauchi M, Takata

- and neck cancer. : Kudo Y, Ogawa I, Kitajima S, Kitagawa M, Kawai H, Gaffney P M, Miyauchi M, Takata T : *Cancer Res.* 66(14),6928-35, 2006.
- 8 : Effect of F-spondin on cementoblastic differentiation of human periodontal ligament cells. : Kitagawa M, Kudo Y, Iizuka S, Ogawa I, Abiko Y, Miyauchi M, Takata T : *Biochem Biophys Res Commun.* 349(3),1050-6,2006.
- 9 : Periostin is frequently overexpressed and enhances invasion and angiogenesis in oral cancer. : Siriwardena B S M S, Kudo Y, Ogawa I, Kitagawa M, Kitajima S, Hatano H, Tilakaratne W M, Miyauchi M, Takata T : *Br J Cancer.* 95(10),1396-403, 2006.
- 10 : Effects of endogenous and exogenous prostaglandin E2 on the proliferation and differentiation of a mouse cementoblast cell line (OCCM-30). : Mada Y, Miyauchi M, Oka H, Kitagawa M, Sakamoto K, Iizuka S, Sato S, Noguchi K, Somerman M J, Takata T : *J Periodontol.* 77(12),2051-8,2006.
- 11 : 新分類 (WHO:2005) による歯原性腫瘍の臨床統計的検討 : 西 裕美, 東川晃一郎, 島末 洋, 平岡美里, 宮内美和, 井上伸吾, 高田 隆, 鎌田伸之 : *日本口腔腫瘍学会誌* 18, 39-47, 2006.
- 12 : 上顎前歯部歯肉に転移した腎細胞癌の1例 : 西 裕美, 宮内美和, 井上伸吾, 二宮嘉昭, 北川雅恵, 吉田光由, 小川郁子, 高田 隆, 赤川安正, 鎌田伸之 : *広島大学歯学会雑誌* 38(2),162-6, 2006.
- 13 : 上顎洞内長期迷入歯根の一例 : 重石英生, 宮内美和, 東川晃一郎, 平岡美里, 三谷佳嗣, 小川郁子, 高田 隆, 鎌田伸之 : *広島大学歯学雑誌* 38(2),167-9, 2006.

B) 総説

- 1 : Degradation of cyclin-dependent kinase inhibitor p27 in oral cancer. : Kudo Y, Keikhae M R, Kitajima S, Ogawa I, Miyauchi M, Takata T : *Oral Med Pathol.* 11,19-26, 2006.
- 2 : WHO による歯原性腫瘍の新たな組織分類とそれに関連する上皮性嚢胞について : 武田泰典, 高田 隆 : *日本口腔外科学会雑誌* 52(2),54-61, 2006.

C) 著書

- 1 : 唾液腺腫瘍 ; 口腔病理アトラス (高木 実監修, 山本浩嗣, 坂井英隆, 高田 隆編) : 高田隆, 小川郁子, 久山佳代 : 文光堂, 東京, 291-313, 2006.
- 2 : 辺縁歯周組織の病変 ; 口腔病理アトラス (高木 実監修, 山本浩嗣, 坂井英隆, 高田 隆編) : 亀山洋一郎, 田中昭男, 宮内陸美 : 文光堂, 東京, 73-89, 2006.
- 3 : Development of periodontal tissue regeneration therapy with new bioactive agents. -Studies on Brain-derived neurotrophic factor and ameloblastin peptide. : Takeda K, Kitagawa S, Kitagawa M, Shiba H, Kawaguchi H, Miyauchi M, Tsuji K, Uchida T, Kurihara H, Takata T : *Proceedings of Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry*, 113-9, 2006.

D) その他の出版物

E) 学会発表

大会 (北九州), 2006.

- 3 : 唾液腺腫瘍の問題症例の検討 : 森永正二郎, 高田 隆, 長尾俊孝, 広川満良 : 病理学会コンパニオンミーティング, 第95回日本病理学会総会 (東京), 2006.
- 4 : 腺様嚢胞癌の診断と篩状増殖を示す他の唾液腺腫瘍との鑑別 : 高田 隆, 小川郁子, 工藤保誠, 宮内睦美 : 病理学会コンパニオンミーティング, 第95回日本病理学会総会 (東京), 2006.
- 5 : 超音波照射に対する歯根膜細胞およびセメント細胞の生物学的反応. (シンポジウム「インプラントにおける超音波治療の役割」) : 田中栄二, Dalla-Bona D.A, 犬伏俊博, 丹根一夫, 太田厚美, 岡田治久, 宮内睦美, 高田 隆 : 第24回日本顎咬合学会学術大会 (東京), 2006.
- 6 : 口腔病理学会診断講習会「唾液腺腫瘍」 : 小川郁子, 高田 隆 : 第17回日本口腔病理学会総会・学術大会 (新潟), 2006.
- 7 : 唾液腺における Clear cell carcinoma (明細胞癌), NOS の鑑別診断 (シンポジウム 唾液腺腫瘍) : 小川郁子, 宮内睦美, 工藤保誠, 佐藤 淳, 高田 隆 : 第17回日本口腔病理学会総会・学術大会 (新潟), 2006.
- 8 : 口腔粘膜悪性境界病変の病理組織学的診断基準 - 診断基準策定作業委員会活動の経過報告 - WHO による epithelial dysplasia, carcinoma in-situ の組織学的診断基準とその問題点 : 小川郁子, 高田 隆 : 第17回日本口腔病理学会総会・学術大会 (新潟), 2006.
- 9 : 再生医療・医学の考え方と歯科医療への応用 : 高田 隆 : 第28回日本歯科技工学会 (広島), 2006.
- 10 : エナメル基質タンパクの歯周組織再生促進メカニズムの解明とアメロプラスチン合成ペプチドの歯周組織再生療法への応用 : 高田 隆, 佐藤 淳, 北川雅恵, 飯塚新二, 工藤保誠, 宮内睦美 : 大阪大学 COE シンポジウム (大阪), 2006.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究(B)) 継続 : 高田 隆 : アメロプラスチン合成ペプチドによる新規骨治療薬の開発. (課題番号 17390486), 4,000 千円
- 2 : 科学研究費補助金 (萌芽研究) 継続 : 高田 隆 : BCG-1 を標的としたセメント骨形成機構の

- 1 : Keikhaee M R, Kudo Y, Kitajima S, Ogawa I, Miyauchi M, Takata T : Poster Award. The 40th Anniversary of Hiroshima University Faculty of Dentistry, Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry 2006.
- 2 : Dalla- Bona D A, Tanaka E, Inubushi T, Oka H, Yamano E, Kawai N, Miyauchi M, Takata T, Tanne K: Poster Award. The 40th Anniversary of Hiroshima University Faculty of Dentistry, Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry 2006.
- 3 : 北島正二郎 : 広島大学学生表彰
- 4 : 岡 広子 : 広島大学歯学会奨励賞
- 5 : 北島正二郎 : 広島大学エクセレント・スチューデント・スカラーシップ 成績優秀学生

(6) 特許

病態情報医科学講座 粘膜免疫学 分野

(1) 職員並びに学生

教授	: 高橋 一郎
助教授	: 飛梅 圭 (2006年3月~)
学内講師	: 島津 篤
助手	: 鶴田 圭伊子、河原 和子
大学院生	: 三藤 聡

(2) 主な研究活動

- 1: 粘膜免疫システムの作動原理とその生物学的意義に関する研究
- 2: 粘膜難治性疾患の成因に関する分子生物学的研究
- 3: 細胞死のシグナル伝達機構

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: 尾道市における乳幼児のう蝕有病状況に影響を与える生活・環境要因について: 三藤聡: 口腔衛生学会誌 56 巻, 688-708, 2006.
- 2: Secretary IgA immune responses as the mucosal frontline. : Takahashi I, A Sasaki, and H Kiyono.: Proceedings of Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry 2006. pp. 57-64.

B) 総説

- 1: 高橋一郎. 粘膜免疫システムの光と影. 日本ヘリコバクター学会誌 7 巻, 62-69, 2006
- 2: 高橋一郎. 実用化に向けた粘膜ワクチンの現状と課題. 臨床免疫 45 巻, 112-116, 2006

C) 著書

- 1: 科学研究費補助金基盤研究「新規粘膜免疫制御分子 MICA の免疫学的恒常性維持機構の解明」報告書: 高橋一郎. 2006
- 2: 「研究現場の臨場感を講義室へ」ムタ・メールマガジン: 高橋一郎: 第 122 号. 2006

D) その他の出版物

展開医科学専攻, 病態制御医科学講座 (口腔解剖学第一講座)

(1) 職員並びに学生

教授 : 前田憲彦
助教授 : 吉子裕二
講師 : 末宗節子 (学内)
助手 : 汪 華
研究員 : 南崎朋子、鈴木清香

(2) 主な研究活動

- 1 : 咀嚼システムの発達と老化に関する機能形態学的研究
- 2 : 脳の再生に関する基礎的研究
- 3 : 間葉系細胞の分化機構に関する研究
- 4 : 骨組織の発生、分化に関する分子細胞生物学的研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Stanniocalcin 1 acts as a paracrine regulator of growth plate chondrogenesis. : Wu S, Yoshiko Y, De Luca F. : J Biol Chem 281, 5120-5127, 2006.

B) 総説

- 1: FGF23 とリン酸代謝の新展開 : 吉子裕二, 前田憲彦 : 広島大学歯学雑誌 37 (2), 154-156, 2005.

C) 著書

D) その他の出版物

- 1: Hasegawa T, Yoshiko Y, Minamizaki T, Wang H, Yamamoto R, Kozai K, Tanne K, Maeda N : Dynamic regulation of mesenchymal lineage transcription factors during osteoblast development in rat calvaria. : IOF & ANZBMS combined Meeting Book 149, 2006.

E) 学会発表

顎口腔医療学講座（歯科麻酔学）および歯科麻酔科

（1）職員並びに学生

教授 : 河原道夫
助教授 : 入舩正浩
講師 : 實田 貫 (学内)
助手 : 遠藤千恵, 清水慶隆
医員 : 永田将照, 三浦完菜, 半澤泰紀
大学院生 : 齊田拓也, 菊地伸仁, 鬼塚千織子
研究生 : 川本壽夫

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 当科におけるインプラント手術に対する精神鎮静法の検討:三浦完菜, 寶田 貫, 入船正浩, 遠藤千恵, 清水慶隆, 永田将昭, 河原道夫:第3回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会(岡山),2006.
- 2: あんしん歯科治療室の利便性 -主治医へのアンケートによる分析-:三浦完菜, 寶田 貫, 入船正浩, 遠藤千恵, 清水慶隆, 永田将昭, 河原道夫:第3回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会(岡山),2006.
- 3: 歯科麻酔科臨床実習における学習環境の評価 -DREEM(Dundee Ready Education Environmental Measure)を用いたアンケート調査-:寶田 貫, 入船正浩, 遠藤千恵, 清水慶隆, 永田将昭, 三浦完菜, 齊田拓也, 鬼塚千織子, 河原道夫:第3回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会(岡山),2006.
- 4: 歯学部学生に対するCPRのスキル調査:清水慶隆, 齊田拓也, 鬼塚千織子, 入船正浩, 寶田 貫, 遠藤千恵, 河原道夫:第3回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会(岡山),2006.
- 5: 選択的 N-methyl-D-aspartate(NMDA)受容体チャンネル遮断薬 MK-801 の全身麻酔作用の検討:入船正浩, 菊地伸仁, 齊田拓也, 鬼塚千織子, 寶田 貫, 遠藤千恵, 清水慶隆, 永田将昭, 三浦完菜, 河原道夫:第34回日本歯科麻酔学会総会(横浜),2006.
- 6: 水浸拘束ストレス負荷マウスの胃潰瘍形成に及ぼす鎮静薬の影響:齊田拓也, 入船正浩, 河原道夫:第34回日本歯科麻酔学会総会(横浜),2006.
- 7: 術前の不安評価における唾液中 Chromogranin A および末梢血流量測定の有効性の検討:遠藤千恵, 入船正浩, 寶田 貫, 清水慶隆, 永田将昭, 三浦完菜, 齊田拓也, 鬼塚千織子, 河原道夫:第34回日本歯科麻酔学会総会(横浜),2006.
- 8: 発見が遅れた歯髄疾患の関連痛にカルバマゼピンが奏功した1症例:土井充, 谷口省吾:日本ペインクリニック学会第40回大会(神戸),2006
- 9: The Level of recognition of the primary headache in dentists (歯科医師における一次性頭痛認識度調査): M Doi, S Tominaga, K Mise, Y Turu, S Taniguchi :The 11th International Federation of Dental Anesthesiology Societies(第11回国際歯科麻酔学会議)(横浜),2006.
- 10: A New Method of transnasal airway management in oral surgery with the combined use of cobra and a tracheal tube (口腔外科手術におけるコブラチューブと気管チューブを併用した新しい気道管理方法):S Tominaga, K Mise, Y Turu, M Doi, Y Manabe and S Taniguchi : The 11th International Federation of Dental Anesthesiology Societies(第11回国際歯科麻酔学会議)(横浜),2006.
- 11: 発作性片側頭痛-チック症候群の1例:土井充, 富永晋二, 布巻昌仁, 野上堅太郎, 真鍋庸三, 谷口省吾:第7回口腔顔面痛学会学術集会(横浜),2006
- 12: 歯科医師における一次性頭痛認識度調査:土井充, 富永晋二, 三瀬健三郎, 都留佑子, 谷口省吾:第7回口腔顔面痛学会学術集会(横浜),2006
- 13: 一次性頭痛による非歯原性歯痛の3例:土井充, 野上堅太郎, 富永晋二, 真鍋庸三, 谷口省吾:第33回福岡歯科大学学会総会(福岡)2006

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

- Nomura Y, Taniguchi A, Fukushima M, Nakai Y, Nishimura Y, Kuroe A, Ohgushi M, Ohya M, Murayama Y, Seino Y. : Horm Metab Res 38, 638-639, 2006.
5. Regression of pustulosis palmaris et plantaris by periodontal treatment in subject with severe periodontitis : Akazawa H, Nishimura F, Maeda H, Takashiba S, Mine A, Maekawa K, Kuboki T : Int J Dermatol 45 , 1420-1422, 2006.
 6. Study on Chemical Interaction between 4-MET and Hydroxyapatite Using XPS : Nagakane K, Yoshida Y, Hirata I, Fukuda R, Nakayama Y, Shirai K, Ogawa T, Suzuki K, Van Meerbeek B : Dent. Mater. J. 25(4), 645-649, 2006.
 7. Effect of water storage on the bonding effectiveness of 6 adhesives to Class I cavity dentin : De Munck J, Shirai K, Yoshida Y, Inoue S, Van Landuyt K L, Lambrechts P, Suzuki K, Shintani H, Van Meerbeek B : Operative Dentistry 31 ,456-465, 2006.

B) 総説

1. 日本歯周病学会学術賞受賞 歯周病と糖尿病および糖尿病性合併症の関連性に関する基礎的・臨床的研究：西村英紀：日歯周誌 48,101-105, 2006.
2. CO₂ および Er:YAG レーザー照射象牙質面に対するレジンの接着特性—レーザー照射象牙質面に対しレジンは本来の接着性能を発揮できるか？—：富士谷盛興：日本レーザー歯学会, 2006

C) 著書

1. 野口俊英 編集「これで大丈夫!患者さんへの情報発信 歯周病と全身疾患」4-1-2 あなたはプロフェッショナルとして国民の約 10%の糖尿病を持つ人びとに、歯周病のリスクとその関連性をどう伝えますか？；岩本義博, 西村英紀：日本歯科評論別冊：HYORON, 東京, p 43-52, 2006
2. 第三版 保存修復学 21. 第 3 版第 1 刷：田上順次, 千田 彰, 奈良陽一郎, 桃井保子, 富士谷盛興：永末書店, 2006.
3. 歯髄保護と歯科材料；富士谷盛興：宮崎隆, 中嶋裕, 河合達志, 小田豊 編 医歯薬出版, 東京, 2006.

D) その他の出版物

1. 西村英紀：生活習慣病の生活指導—メタボリック症候群以外の疾病 歯周病, クリニカルプラクティス 25 , 649-651, 2006.
2. 富士谷盛興：臨床理工講座 歯の汚れをやさしく, 短時間に除去する「ステインバスター®」；日本歯科評論 66(7), 115-118, 2006.
3. 富士谷盛興：舌側に抜けたⅢ級窩洞, あるいはⅣ級窩洞における簡単な積層充填法—2色を用いた簡易なレイヤリングテクニック；日本歯科評論 66(10), 163-168, 2006.
4. 富士谷盛興：歯質接着の効果と安全性；臨床に役立つ接着修復のすべて (宮崎真至 編) 歯界展望別冊, 56-61, 医歯薬出版, 東京, 2006.

- 牙質における性状解析と新規レジン接着システムの開発に関する研究(課題番号：17591992), 1,500 千円
4. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(A)一般):富士谷盛興;シミュレーションシステムの導入による歯科臨床教育の合理化・能率化(課題番号:16209055), 850 千円
 5. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)一般):白井憲一, 荒川 真;高性能シランカップリング剤のナノ・レベルでの開発(課題番号:18592090), 2,300 千円
 6. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)一般):藤井理史, 西村正宏, 完山 学;歯髄をソースとしたあらゆる硬組織再生へのアプローチ(課題番号:18592091), 2,300 千円
 7. 委任経理金(クラレメディカル株式会社):富士谷盛興 400 千円
 8. 委任経理金(株式会社松風):富士谷盛興 300 千円
 9. 委任経理金(サンメディカル株式会社):富士谷盛興 500 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

- cancer. : Aung PP, Oue N, Mitani Y, Nakayama H, Yoshida K, Noguchi T, Bosserhoff AK, Yasui W. : *Oncogene*. 25(17),2546-57, 2006.
- 5 : Differential expression of claudin-2 in normal human tissues and gastrointestinal carcinomas. : Aung PP, Mitani Y, Sanada Y, Nakayama H, Matsusaki K, Yasui W. : *Virchows Arch*. 448(4):428-34, 2006.
- 6 : Correlation of Bub1 expression with tumor-proliferating activity in human salivary glandtumors. : Shigeishi H, Ono S, Taki M, Yoneda S, Nobumori T, Higashikawa K, Yasui W, Kamata N. : *Oncology Report* 15 (4), 933-8, 2006.
- 7 : Genetic analyses in patients with familial isolated hyperparathyroidism and hyper-parathyroidism-jaw tumour syndrome. : Mizusawa N, Uchino S, Iwata T, Tsuyuguchi M, Suzuki Y, Mizukoshi T, Yamashita Y, Sakurai A, Suzuki S, Beniko M, Tahara H, Fujisawa M, Kamata N, Fujisawa K, Tohru Yashiro T, Nagao D, Golam MG, Sano T, Noguchi S, Yoshimoto K. : *Clinical Endocrinology* 65 (1), 9-16 2006.
- 8 : Increased expression of CENP-H genein human oral squamous cell carcinomas with tumor-proliferating activity. : Shigeishi H, Ono S, Taki M, Yoneda S, Higashikawa K, Kamata N. : *Oncology Report* 16(5), 1071-5, 2006.
- 9 : 当科におけるインプラント治療の取り組み インプラント治療導入後 5 年間の経過報告 : 西村正宏, 牧平清超, 杉山 勝, 鎌田伸之, 貞森紳丞, 濱田泰三 : *広島歯科医学雑誌*, 第 33 卷 1 号, 27-31, 2006.
- 10 : 舌線維腫切除術を行った低コリンエステラーゼ血症の 1 例. : 西 裕美, 東川晃一郎, 小野重弘, 瀧 雅行, 井上伸吾, 鎌田伸之 : *日本口腔外科学会雑誌* 第 52 卷 5 号, 303-306, 2006.
- 11 : 新分類 (WHO: 2005) による歯原性腫瘍の臨床統計的検討 : 西 裕美, 東川晃一郎, 島末 洋, 平岡美里, 宮内美和, 井上伸吾, 高田 隆, 鎌田伸之 : *日本口腔腫瘍学会雑誌* 第 18 卷 2 号, 39-47, 2006.
- 12 : 抜歯後出血を契機として診断された腹部大動脈瘤による慢性 DIC の 2 例 : 宮内美和, 二宮嘉昭, 太田耕司, 東川晃一郎, 信森 剛, 井上伸吾, 鎌田伸之 : *広島大学歯学雑誌* 第 38 卷 1 号, 76-79, 2006.
- 13 : 認知症の習慣性顎関節脱臼に対する自己血注入療法の 1 例 : 西 裕美, 東森秀年, 信森 剛, 太田耕司, 小野重弘, 東川晃一郎, 鎌田伸之 : *広島大学歯学雑誌* 第 38 卷 1 号, 80-83, 2006.
- 14 : 扁平上皮癌細胞における Snail による上皮・間葉移行を介した遺伝子発現制御の解析 : 瀧 雅行, 東川晃一郎, 米田進吾, 鎌田伸之 : *口腔組織培養学会誌* 第 15 卷 2 号, 1-10, 2006.
- 15 : 有茎および遊離筋皮弁による口腔癌切除後の即時再建 : 宮内美和, 東川晃一郎, 太田耕司, 二宮嘉昭, 島末 洋, 信森 剛, 小野重弘, 重石英生, 横田和典, 鎌田伸之 : *広島大学歯学雑誌* 第 38 卷 2 号, 143-149, 2006.
- 16 : セルジンガー法を用いた放射線併用超選択的動注化学療法による舌癌治療 : 小野重弘, 太田耕司, 宮内美和, 瀧 雅行, 水田邦子, 藤本伸一, 豊田尚之, 和田崎晃一, 鎌田伸之 : *広島大学歯学雑誌* 第 38 卷 2 号, 157-161, 2006.

35: 口腔扁平上皮癌における EMT 関連遺伝子 VEGF-C 発現の臨床病理学的意義に関する検討: 小野重弘, 重石英生, 米田進吾, 瀧雅行, 東川晃一郎, 鎌田伸之: 第 64 回日本癌学会学術総会 (横浜), 2006.

36: SAGE 法による口腔および食道扁平上皮癌の網羅的遺伝子発現解析: 杉山真一, 大上直秀, 三谷佳嗣, 野口 剛, 鎌田伸之, 安井 弥: 第 64 回日本癌学会学術総会 (横浜), 2006.

37: Reg IV は 5-FU によるアポトーシスを抑制し, 5-FU 耐性および血清診断のマーカーとして有用である: 大上直秀, 三谷佳嗣, 野口 剛, 国安弘基, 鎌田伸之, 安井 弥: 第 64 回日本癌学会学術総会 (横浜), 2006.

38: 上皮・間葉移行を介した扁平上皮癌の高度浸潤能の獲得における DNp63a の役割: 米田進吾, 東川晃一郎, 瀧 雅行, 重石英生, 小野重弘, 鎌田伸之: 第 51 回社日本口腔外科学会 (北九州), 2006.

39: 口腔扁平上皮癌における EMT 標的遺伝子 VEGF-C の発現と病期進展との関連: 小野重弘, 重石英生, 米田進吾, 瀧 雅行, 東川晃一郎, 鎌田伸之: 第 51 回社日本口腔外科学会 (北九州), 2006.

40: 口腔扁平上皮癌の EMT 関連遺伝子 VEGF-C の発現と病期進展との関連: 重石英生, 小野重弘, 米田進吾, 瀧 雅行, 東川晃一郎, 鎌田伸之: 第 51 回社日本口腔外科学会 (北九州), 2006.

(5) 学会賞等の受賞状況

1: 三谷佳嗣：広島大学大学院医歯薬学総合研究科研究科長賞，2006

- 平田伊佐雄, 吉田靖弘, 鈴木一臣, 岡崎正之, 赤川安正: 日本補綴歯科学会第 115 回学術大会(札幌), 2006
- 17: ハイブラー®製マウスガード製作への放射温度計の応用: 津賀一弘, 生熊義正, 丸山真理子, 林 亮, 赤川安正: 第 17 回日本スポーツ歯科学会学術大会(盛岡), 2006
- 18: 連通多孔性ハイドロキシアパタイトを用いたハイブリッド人工骨の創製: 土井一矢, 久保隆靖, 林和彦, 松浦歩, 森田晃司, 井村浩一, 朝森千永子, 赤川安正: 第 36 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会(新潟), 2006
- 19: マウスガード加熱成型への放射温度計の応用: 津賀一弘, 丸山真理子, 生熊義正, 林 亮, 堂脇一朗, 里見圭一, 赤川安正: 平成 18 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会(松山), 2006
- 20: コンパウンドキャリアシステムの簡便性—操作時間について—: 田地 豪, 林 亮, 吉川峰加, 山中威典, 吉田光由, 森本 進, 守谷直史, 津賀一弘, 赤川安正: 平成 18 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会(松山), 2006
- 21: 新しい生体力学解析に基づく上部構造を装着したインプラントの 1 症例: 是竹克紀: 平成 18 年度日本補綴歯科学会中国・四国支部学術大会(松山), 2006
- 22: 骨再生への bFGF ドラッグデリバリーシステムの応用: 林和彦, 久保隆靖, 土井一矢, 松浦歩, 森田晃司, 田畑泰彦, 赤川安正: 第 9 回日本組織工学会(京都), 2006
- 23: 簡易型舌圧測定装置を用いた嚥下機能評価の可能性: 河村崇久, 岡田源太郎, 林 亮, 津賀一弘, 赤川安正: 第 12 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会(倉敷), 2006
- 24: 嚥下障害患者の嚥下音に関する検討: 吉川峰加, 長崎信一, 吉田光由, 田中君枝, 笹村和博, 赤川安正: 第 12 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会(倉敷), 2006
- 25: インプラント周囲骨欠損における bFGF ドラッグデリバリーシステム骨再生療法の開発: 林和彦, 久保隆靖, 土井一矢, 松浦歩, 森田晃司, 田畑泰彦, 赤川安正: 第 36 回日本口腔インプラント学会学術大会(新潟), 2006
- 26: 医療現場の健康確保を考えたペットボトル応用簡易防塵装置: 津賀一弘, 大倉啓孝, 丸山真理子, 林 亮, 田地 豪, 岡根秀明, 赤川安正: 日本歯科技工学会第 28 回学術大会(広島), 2006
- 27: Evaluation of bone regeneration in rabbits with a novel carbonate apatite collagen sponge : Matsuura A, Kubo T, Doi K, Hayashi K, Morita K, Hirata I, Yokota R, Hayashi H, Okazaki M and Akagawa Y: 2nd Asian Academy of Osseointegration(Osaka), 2006
- 28: New assessment of insertion torques of implant by intraoral radiograph : Koretake K, Hirata M, Miyamoto Y, Kubo T and Akagawa Y: 2nd Asian Academy of Osseointegration(Osaka), 2006
- 29: 要介護高齢者における義歯治療前後の体重変化: 吉田光由, 金久弥生, 田地豪, 津賀一弘, 赤川安正: 第 17 回日本咀嚼学会学術大会(横浜), 2006
- 30: 新しい口腔パワーリハビリテーションの開発—所要時間と短期的効果—: 林 亮, 岡田源太郎, 河村崇久, 丸山真理子, 歌野原有里, 吉川峰加, 津賀一弘, 赤川安正: 第 45 回広島県歯科医学会・第 90 回広島大学歯学会(広島), 2006

F) 学会シンポジウム, 特別講演

(6) 特許

展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座・歯科補綴学研究室および口腔維持修復歯科 (咬 合 ・ 義 歯 診 療 科)

(1) 職員並びに学生

教授	: 濱田泰三
助教授	: 貞森紳丞
講師	: 安部倉 仁, 西村正宏 (学内)
助手	: 井上俊二, 洪 光, 西村春樹, 香川和子
事務補佐員	: 宮川路子
医員	: 原田佳枝, 林 昭二
研修医	: 大久保 香, 川越亮利, 福田剛人
大学院生	: 関谷健祐, 李 英愛, 末廣史雄, 林田健太郎 (社会人), 前田武志, 水町 亘, 林 昭二 (社会人)
研修登録医	: 深野木 豊, 平塩清滋
その他	: 山田賢治, 古胡真佐美, 楢崎泰史, 尾谷 優, 赤塚貴則

(2) 主な研究活動

- 1 : 間葉系幹細胞を用いた骨の再生医療に関する研究
- 2 : 磁性アタッチメントに関する研究
- 3 : 高齢者と歯科診療に関する研究
- 4 : 精神障害と歯科診療に関する研究
- 5 : 義歯安定剤の研究開発
- 6 : 義歯洗浄剤の開発研究
- 7 : 義歯裏装材の開発およびレオロジーに関する研究
- 8 : 軟質義歯裏装材の ISO 規格
- 9 : TMD に対する保存療法に関する研究
- 10 : 接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : 本学病院の歯科領域で臨床教育や研修を受けている者の医療事故に対する保険と傷害保険への加入状況について : 笹原妃佐子, 河村 誠, 貞森紳丞, 田口則宏, 小川哲次 : 日歯教誌 20, 390-395, 2005.
- 2 : 当科におけるインプラント治療の取り組み-インプラント治療導入後 5 年間の経過報告 : 西村正宏, 牧平清超, 杉山勝, 鎌田伸之, 貞森紳丞, 濱田泰三 : 広島歯誌 33,

の の

： 歯 会 田、三：テ`タレ イ ノ 1(15), 160-161, 2006.
2： 成 16 研究 , 部分 , に、する症 分. の
： 佐 仁, , 佐 一, 之, 和 裕之, 田 ,
部正巳, 尾 , 尾 , 大山 , 、 正：日歯医
会 25, 63-75, 2006.

： n v お び in viv における 骨分子、 の 田 , 本 , 山田
裕, 上田、己, 光, 本 , 中 , 一, 正 , 尾田 ,
中村 茂夫, 子, 一, 幸夫：第 19 回日本軟骨代謝学会 (), 2006.

2： と 軟骨での イ プ イレ：上、太一、本 , 上田 泰己, 本田
, 水正 , , 本 巳, 中 , 本 正, 尾田 , 中村 茂夫, 子
, 本 一, 加藤 幸夫：第 19 回日本骨代謝学会 (横), 2006.

： 系幹 シテムにおける 本、テ インの 水正 , 本 ,
, , 美, 山中 之, 西村 , 辻 一 郎, 加藤 幸夫： 19
回日本軟骨代謝学会 (横), 2006.

： カ 法 て に系 , する方法の検討： ,
美, , 山中 , , 西村 正宏, 夫, 辻 一 郎：第 5
回日 医 会 (山), 2006.

： 成 の がテ ッ シ コンテ ショナーの 及ぼす影：前田 武志, 共 ,
村田 比呂司, , 濱田 一： 7 回 本歯科 会 (), 2006.

： 方 がテ ッ シュ コンテ ショナーの 化および 化に 及ぼす影：,
, 村田 比呂司, 前田 武志, 田 泰三：第 7 回日本歯科 学会 (), 2006.

7： タイプ の 性および 粘 に て： 田 太郎, 光,
前田 武志 村田 比呂司, , 濱田 泰三：第 8 回 義 装 材 研 究 会 (東),
2006.

： の がテ ッ シュ コンテ ショナーの 及ぼす影：前田 武志, 共
光, , 水 二, 濱田 一, 村田 比呂司： 8 回 義歯 装 材 研 究 会 (東
), 2006.

： がシ コーン系 材の 性 に及ぼす影： 一, 村 比
呂司, , 光, 田 武志, 濱田、三： 回 軟 歯 材 研 究 会 (), 006.

10： 症 の 今 と日 イ 目 , との ー レ ムで
の 検討： 美, , 濱田 泰一, , 佐 一： 17 回 本 歯科 学
会 (), 2006.

11： 系幹 の イ 方 の 田 正 三, 村 正 三, 濱
田 一 加 夫 第 九 回

広島県歯科医学会・第90回広島歯学会（広島），2006.

28 : Comprehensive analysis of factors to induce mesenchymal stem cells migration : Ozaki Y, Nishiimura M, Sekiya K, Suehiro F, Hamada T, Kato Y : Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry 2006 (Hiroshima), 2006.

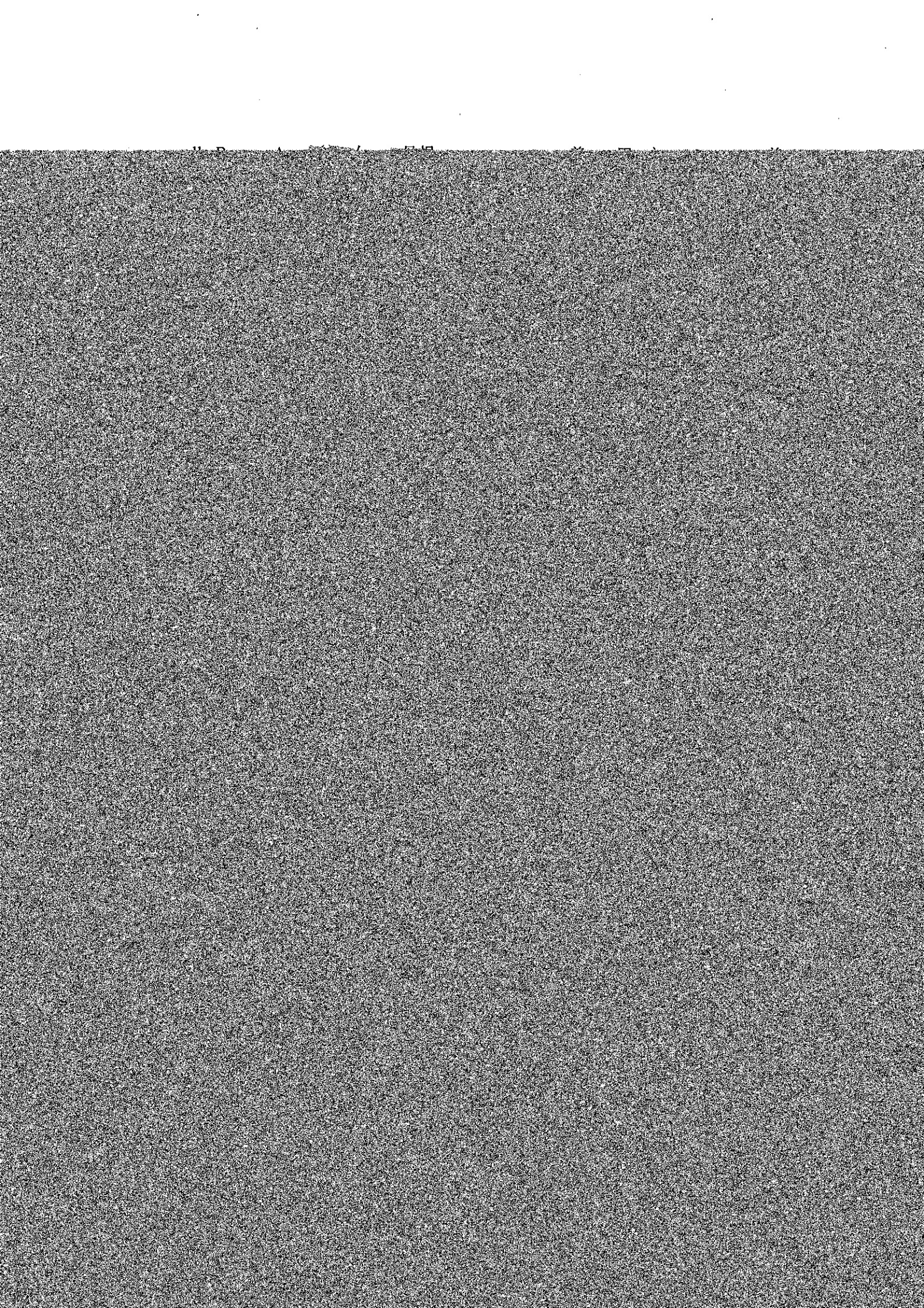
29 : The Influence of Sericin Solution on Wettability of Resin and Antifungal Effect : Hamada T, Yuda S, Yamada H, Tsujimoto K, Maeda T, Hong G, Li Y A, Sadamori S, Nishimura M : Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry 2006 (Hiroshima), 2006.

30 : Dynamic mechanical properties of visible light-polymerized, hard direct relines resins : Murata H, Seo R S, Hamada T, Polyzois G L, Frangou M J : European Prosthodontic Association (EPA) 30th Annual Conference (London), 2006.

F) 講演

広島県歯学会 第90回大会 広島市 2006年10月

屏問匡科学甫攻, 頸口腔頤部匡科学講座, 齿科修正学研究室



(6) 特許

Archives Oral Biology 51, 117-121, 2006.

- 2 : Identification and molecular characterization of an N-acetylmuraminidase, Aml, involved in Streptococcus mutans cell separation : Yoshimura G, Komatsuzawa H, Hayashi I, Fujiwara T, Yamada S, Nakano Y, Tomita Y, Kozai K, Sugai M : Microbiology and Immunology 50(9), 729-742, 2006.
- 3 : OspF and OspC1 are Shigella flexneri type III secretion system effectors that are required for postinvasion aspects of virulence. : Zurawski D V, Mitsuhata C, Mumy K L, McCormick B A, Maurelli A T : Infection and Immunity 74(10), 5964-76, 2006.
- 4 : 当科における知的障害児（者）の歯科診療に関する実態調査 : 三浦 梢, 中江寿美, 鈴木淳司, 中岡美由紀, 天野秀昭, 香西克之 : 小児歯科学雑誌 44(3), 396-402, 2006.
- 5 : 乳歯列期に正常咬合である小児の叢生発現の過程に関する縦断研究 : 海原康孝, 財賀かおり, 中江寿美, 蔵本銘子, 楨平美夏, 鈴木淳司, 香西克之 : 小児歯誌 44(5), 649-656, 2006.
- 6 : 交通外傷によって生じた小児の両側臼歯部歯冠破折の一例 : 光畑智恵子, 蔵本銘子, 桑原さつき, 廣安まさみ, 角本法子, 鈴木淳司, 香西克之 : 日外傷歯誌 2(1), 92-98, 2006.

B) 総説

- 1 : これからの小児の歯科医療 : 香西克之 : 小児口腔外科16(2), 125-130, 2006.

C) 著書

- 1 : 新・う蝕の科学 : 「う蝕と食生活」 : 香西克之 (分担著者) : 浜田茂幸, 大嶋隆編著, 歯葉出版, 161-171, 2006.
- 2 : 今日の小児治療指針・14版 : 小児歯科・口腔外科疾患 : 「歯の発育と萌出」 : 香西克之 (分担著者) : 大関武彦, 古川漸, 横田俊一郎編, 医学書院, 670-671, 2006.

D) その他の出版物

- 1 : 親子のお口の健康教室・報道記事 : 中国新聞, 2006.
- 2 : 教室紹介 : 香西克之 : 小児歯科臨床, 11(6), 93, 2006.
- 3 : 第44回日本小児歯科学会大会・宿題報告 : 香西克之 : 日本教育医事新聞, 第261号, 2006.
- 4 : 第6回日本外傷歯学会総会・学術大会 : 香西克之 : 日本教育医事新聞, 第264号, 2006.
- 5 : いっしょに子育て すくすくサロン「4歳になる娘の虫歯」 : 香西克之 : 中国新聞, 2006.

E) 学会発表

- 1 : 反対咬合治療後の予後不良な小児の乳歯列期における顎顔面歯列の特徴 : 海原康孝, 林 文子, 三浦 梢, 香西克之 : 第44回日本小児歯科学会 (松本), 2006.

ation for Dental Research (Brisbane), 2006.

16: 経年資料を用いた小児歯科学実習に対する学生評価: 林 文子, 海原康孝, 水野龍治郎, 鈴木淳司, 香西克之: 第25回日本歯科医学教育学会総会および記念大会 (仙台), 2006.

17: 根未完成歯再植後の歯根発育について: 岡本真理子, 光畑智恵子, 鈴木淳司, 香西克之: 第1回日本外傷歯学会総会・学術大会 (広島), 2006.

18: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

19: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

20: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

21: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

22: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

23: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

24: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

25: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

26: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

27: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

28: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

29: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

30: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

31: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

32: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

33: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

34: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

35: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

36: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

37: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

38: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

39: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

40: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

41: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

42: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

43: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

44: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

45: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

46: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

47: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

48: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

49: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

50: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

51: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

52: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

53: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

54: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

55: 小児歯科学実習の教育効果に関する調査: 林 文子, 鈴木淳司, 香西克之

- スクの検討. (課題番号 18791552) . 1,800千円
- 3: 科学研究費補助金 (一般基盤(C)): 鈴木淳司: 歯周病原性菌 (A. a) の産生する未知のビルレンス因子. (課題番号 18592236) . 800千円
 - 4: 財団法人 緑風会研究助成金: 有木美早, 300千円
 - 5: 2006年度 財団法人 富徳会研究助成金: 吉村 剛, 300千円
 - 6: 平成17年度医歯薬学総合研究科大学院生海外発表支援採用: 南崎朋子, 100千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 蔵本銘子: 広島大学学生表彰, 2006.

(6) 特許

口腔保健衛生学講座（社会歯科保健学分野）

（１）職員並びに学生

教授：杉山 勝

助教授：藤本比登美

（２）主な研究活動

- 1：学校保健活動のあり方に関する研究
- 2：不登校問題と養護教諭の役割に関する研究
- 3：養護教諭の職務のあり方に関する研究
- 4：学校歯科保健のあり方に関する研究
- 5：口腔病変の発生や特徴と、口腔微生物との関連についての研究

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

B) 総説

C) 著書

- 1：2-9.唾液腺疾患. 医療従事者のための口腔外科学(古森孝英編)：杉山 勝：永末書店（京都），pp160-175, 2006.
- 2：3-16.唾石摘出術. 医療従事者のための口腔外科学(古森孝英編)：杉山 勝：永末書店（京都），pp252-255, 2006.

D) その他の出版物

- 1：アメリカの歯科医療従事者（特に歯科衛生士・歯科技工士）養成機関を視察して：杉山 勝：平成18年度海外先進教育実践支援成果報告書「医療人のための先進的スキル獲得プログラム」，広島大学（事業責任者：井内康輝），pp71-80, 2006.

E) 学会発表

- 1：Detection of human papillomavirus-16 and HPV-18 DNA in normal, dysplastic, and malignant oral epithelium : Sugiyama M, Bhawal UK, Fujimoto H, Takemoto T, Hara H, Matsumoto A, Niitani Y, Nikawa H, Makihiro S, Satoda T, Shimoe S, Murayama T, Tamamoto M, Amano H:

The 7th Conference of Asian Association of Preventive Dentistry (Okayama), 2006.

- 2 : Application of Mesenchymal Stem Cells (MSC) to Regenerative Dentistry and Identification of Molecular Markers for MSC : Kato Y, Shimizu M, Igarashi A, Ishii M, Kawaguchi H, Kamata N, Sugiyama M, Kurihara H, Tsuji, K Kawamoto T. : The 1st Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry (Hiroshima), 2006.
- 3 : 連通気孔構造を有する新規ハイドロキシアパタイトセラミックスの口腔外科領域への応用 : 宮内美和, 吉岡幸男, 東川晃一郎, 小泉浩一, 太田耕司, 谷 亮治, 東森秀年, 林堂安貴, 井上伸吾, 虎谷茂昭, 杉山 勝, 赤川安正, 鎌田伸之, 岡本哲治 : 第 51 回社日本口腔外科学会 (北九州), 2006.
- 4 : 養護教諭が行なう家族支援 - 家族支援システムアプローチを用いて - : 津島ひろ江, 藤本比登美, 梶原京子 : 日本家族看護学会 第 13 回学術集会 (広島), 2006 年.
- 5 : 養護教諭の健康相談活動に家族システム・アプローチの導入 : 津島ひろ江, 藤本比登美, 梶原京子 : 第 53 回日本学校保健学会 (高松), 2006 年.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2) 一般) 継続 : 杉山 勝, 宮内美和, 東川晃一郎 : 口腔扁平上皮癌の発癌へのヒトパピローマウイルスの関与. (課題番号 16390590). 3,100 千円.
- 2 : 学部・附属学校共同研究「研究プロジェクト」: 藤本比登美, 保田利恵, 相澤光恵, 大後戸一樹, 天野秀昭, 仁井谷善恵 : 生きる力を育む健康教育を推進するための調査. 22,340 円.
- 3 : 学部・附属学校共同研究「研究プロジェクト」: 里田隆博, 下江宰司, 藤本比登美, 白神聖也, 井上純一, 横山道昭 : 高校生物教育における機能的解剖模型の取り入れ. 45,906 円.
- 4 : 学部・附属学校共同研究「研究プロジェクト」: 川崎裕美, 藤本比登美, 保田利恵, 宮田晶子, 後藤美由紀, 落合さゆり, 相澤光恵, 森貞知子, 魚谷香, 荒谷美津子, 弓場菜穂子, 矢部裕子, 柳田有子 : これからの養護実習一技術習得における課題

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

- peroxidase secretion) : 丸山たかね, 原 久美子, 岩佐佳子, 杉田 誠, 広野 力, 柴芳樹 : 第 48 回歯科基礎医学会 (横浜), 2006.
- 8 : 唾液腺マッサージの唾液分泌量に及ぼす影響 (Effect of gland massage on salivary secretion) : 原 久美子, 丸山たかね, 広野 力, 天野秀昭, 柴 芳樹 : 第 48 回歯科基礎医学会 (横浜), 2006.
- 9 : 唾液ペルオキシダーゼを指標とした障害者歯科受診時のストレス評価 : 丸山たかね, 原 久美子, 川本博也, 柴 芳樹 : 第 23 回日本障害者歯科学会 (仙台), 2006.10/20-21.
- 10 : 唾液分泌における唾液腺マッサージの有効性に関する検討 : 原 久美子, 丸山たかね, 広野 力, 天野秀昭, 柴 芳樹 : 第 45 回広島県歯科医学会・第 90 回広島大学歯学会例会 (広島), 2006.
- 11 : 唾液腺マッサージにより口腔乾燥の改善を認めた一例 : 原 久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵, 竹本俊伸, 天野秀昭 : 第 1 回日本歯科衛生学会 (東京), 2006.
- 12 : 口腔リラクセーションによる唾液分泌量と性状の変化について : 松本厚枝, 原 久美子, 仁井谷善恵, 竹本俊伸, 天野秀昭 : 第 1 回日本歯科衛生学会 (東京), 2006.
- 13 : 知的障害者の理解を深めるために—絵カード作成で構成した PBL チュートリアル— : 原 久美子, 仁井谷善恵, 藤本比登美, 松本厚枝, 竹本俊伸, 天野秀昭, 杉山 勝 : 2006 (平成 18) 年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会 (京都), 2006.
- 14 : 学校歯科検診における口腔内スキャナ画像の活用 —口腔への関心を深めるために— : 天野秀昭, 原 久美子, 藤本比登美, 杉山 勝, 竹本俊伸, 松本厚枝, 仁井谷善恵, 二川浩樹, 里田隆博, 村山 長, 玉本光弘, 牧平清超, 下江宰司, 河村 誠, 岡田 貢 : 第 2 回広島小児保健研究会 (広島), 2006.
- 15 : 学生によるエピテーゼを想定した顔面マスクの製作 : 下江宰司, 田嶋英明, 牧平清超, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹, 天野秀昭, 永見美鈴 : 第 28 回日本歯科技工学会 2006. (広島)
- 16 : Chewing Gum Containing Citric acid Reduces the Burden of Periodontopathogens. : Nikawa H, Igarashi S, Takasu O, Harano F, Shinohara S, Tamamoto M, Takemoto N, Shimoe S, Hara K, Matsumoto A, Niitani H, Fujimoto T, Murayama T, Satoda M, Sugiyama M, Amano H, Kurihara H & Samaranayake LP. : 第 84 回 IADR, (ブリスベン). 2006.
- 17 : 歯科技工実習における粉塵の発生について : 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長, 里田隆博, 玉本光弘, 下江宰司, 天野秀昭 : 第 28 回日本歯科技工学会.(広島) 2006.
- 18 : P 型 ATPase 阻害剤は成熟破骨細胞への分化を抑制する : エドユアルド修市郎小坂, 牧平清超, 尾崎加奈, 下江宰司, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 杉山 勝, 天野秀昭, 竹本俊伸, 二川浩樹 : 第 45 回広島県歯科医学会・第 90 回広島大学歯学会例会 (広島) 2006.

F) 講演

- 1 : 天野秀昭 : すべてのライフステージの方に元気を提供するために : 第 28 回日本歯科技工学会シンポジウム (広島) 2006.
- 2 : 原久美子 : 「口腔ケアの実際」, 医療法人社団更生会草津病院・看護部研修会 (広

島), 2006.

- 3 : 原久美子 : 「口腔を清潔にする技術ー基礎編ー」, 口腔ケア研究会ひろしま (広島), 2006.
- 4 : 原久美子 : 「第7回口腔ケア実践セミナー 口腔を清潔にする技術ー応用編ー」, 口腔ケア研究会ひろしま・第7回口腔ケア実践セミナー (広島), 2006.
- 5 : 原久美子 : 「家庭でできる栄養管理と口腔ケア・やさしい介護」, 平成18年度広島市委託 南区家族介護教室 (広島), 2006.

G) 社会貢献

- 1 : 小学生のためのデンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう!」: 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 仁井谷喜恵, 小川郁子, 小原 勝, 牧平清超, 末井良和, 高田隆, 菅井基行, 岡本哲治, 栗原英見 : 広島大学公開講座 (広島), 2006.
- 2 : 東広島市におけるデンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう!」: 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 牧平清超, 仁井谷喜恵, 栗原英見 : 東広島市「いい歯の日」(東広島), 2006.
- 3 : 高校生公開講座 デンタルキッドプロジェクト : 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 牧平清超, 仁井谷喜恵, 小川郁子, 小原 勝, 末井良和, 高田 隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見 : 広島大学公開講座 (広島), 2006.
- 4 : 通所介護事業所光清苑における口腔機能向上プログラム評価 : 原久美子 : 通所介護事業所光清苑 (広島), 2006.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 平成18年度科学研究費補助金(萌芽) : 天野秀昭 : 近赤外線吸収スペクトラム解析による非侵襲的歯周検査法の検討。(課題番号18659615). 2500千円.

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

(7) 教育業績

(8) 委員

1 : 天野秀昭 : 日本歯科医療福祉学会評議員 (2005.4~)

2 : 天野秀昭 : 広島県歯科衛生協議会学校歯科保健部門委員 (2003.4~)

天野秀昭，原久美子，藤本比登美，杉山 勝，竹本俊伸，松本厚枝，仁井谷善恵，二
村

G) 社会貢献

- 1 : デンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」：広島大学歯学部（広島），2006.
- 2 : デンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」：東広島市「いい歯の日」（東広島），2006.
- 3 : 高校生公開講座：広島大学公開講座（広島），2006.
- 4 : 歯科衛生士試験委員会委員：松本厚枝：財団法人 歯科医療研修振興財団（東京），2006.
- 5 : 日本口腔衛生学会近畿・中国・四国地方会幹事：松本厚枝：日本口腔衛生学会近畿・中国・四国地方会幹事会（和歌山），2006.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

口腔保健工学講座 基礎口腔科学分野

(1) 職員並びに学生

教授 : 里田隆博
講師 : 下江宰司

(2) 主な研究活動

- 1 : 解剖学教育用模型の開発
- 2 : 咀嚼運動を制御する脳内ニューロンの形態学的研究
- 3 : 前装材料と歯科用金属の接着に関する研究
- 4 : 義歯刻印法に関する研究
- 5 : 審美歯科複合材料に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : 本校におけるこれまでの歯科技工士養成に関する分析と四年制移行による変化-学生に関する調査- : 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹, 天野秀昭, 妹尾輝明 : 日本歯科技工学会誌 27 (1), 52-58, 2006.
- 2 : 歯科関連企業を対象とした歯科技工士の需要および教育に関するアンケート調査 : 玉本光弘, 田嶋英明, 下江宰司, 村山 長, 里田隆博, 二川浩樹, 天野秀昭 : 日本歯科技工学会誌 27 (1), 43-51, 2006.

B) 総説

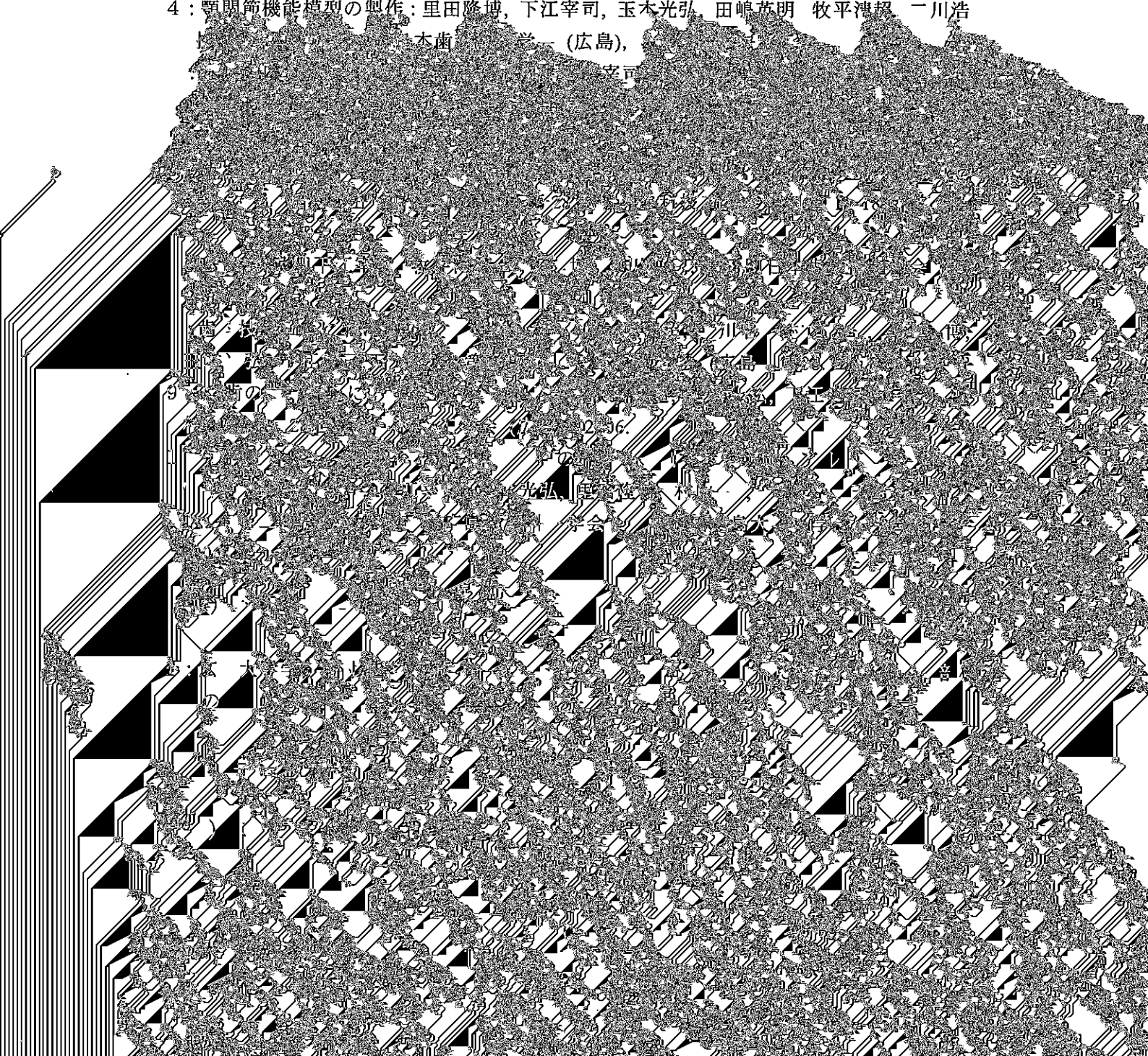
C) 著書

- 1 : 接着を活かした歯冠修復, 健全歯質の保存を実現できた接着ブリッジの再装着症例 :

2006.

E) 学会発表

- 1 : 顎関節機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 二川浩樹, 玉本光弘, 田嶋英明, 村山長, 大浦愼太郎, 山口拓真, 山西恵美子, 樋山伸二, 内田 隆 : 第 111 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2006.3.29-31, (神奈川)
- 2 : 舌・軟口蓋機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長, 植田仁美, 豊浦朋子 : 第 39 回広島大学歯学会総会 (広島), 2006.
- 3 : 学生によるエピテーゼを想定した顔面マスクの製作 : 下江宰司, 田嶋英明, 牧平清超, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹, 天野秀昭, 永見美鈴 : 第 28 回日本歯科技工学会 (広島) 2006.
- 4 : 顎関節機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 玉本光弘, 田嶋英明, 牧平清超, 二川浩樹, 村山長, 植田仁美, 豊浦朋子 : 第 39 回広島大学歯学会総会 (広島), 2006.



口腔保健学科 口腔保健工学講座 生体材料工学分野

(1) 職員並びに学生

教授 : 村山 長

助教授 : 玉本光弘

(2) 主な研究活動

- 1 : CAD/CAM, ラピッドプロトタイピングの歯科医療への応用
- 2 : コンカレントエンジニアリングを適用した修復物の設計・製作
- 3 : 歯科医療のための3Dモデリングとコンピュータ・シミュレーション
- 4 : 歯科用修復用口腔器具の開発と製造

口腔保健学科 口腔保健工学講座 口腔機能修復学分野

(1) 職員並びに学生

教授 : 二川浩樹 (*) 診療支援部歯科技工室長、口腔検査センター長 (併任)
助教授 : 牧平清超 (4月から)
研究生 : 尾崎加奈 (4月から), エドゥアルド修市郎小坂 (5月から)
事務補佐員 : 田原一美 (3月まで), 廣本延枝 (9月まで), 蔭地美紀

(2) 主な研究活動

- 1 : 歯科材料アレルギーの材料学的研究
- 2 : カンジダバイオフィルムとデンチャープラークの研究
- 3 : プロバイオティクスを応用したう蝕予防の研究
- 4 : 塩基性抗菌性ペプチドの設計
- 5 : 塩基性抗菌性ペプチドを応用した間葉系幹細胞の大量増殖の研究
- 6 : 歯槽骨吸収機構の解明
- 7 : 骨吸収抑制剤の開発
- 8 : 新規インプラント材料の開発

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : An in vitro evaluation of the adhesion of Candida species to oral and lung tissue cells : Nikawa H, Egusa H, Makihira S, Okamoto T, Kurihara H, Shiba H, Amano H, Murayama T, Yatani H, Hamada T : Mycoses 49, 14-7, 2006.
- 2 : The effect of saliva or serum on bacterial and Candida albicans colonization of type I collagen : Nikawa H, Egusa H, Yamashiro H, Nishimura M, Makihira S, Jin C, Fukushima H, Hamada T : J Oral Rehabil 33, 767-74, 2006.
- 3 : In vitro Mechanisms of Interleukin 8 Response of Human Gingival Epithelial Cells to Candida albicans Infection : Egusa H, Nikawa H, Makihira S, Yatani H, Hamada T : Int J Med Microbiol 296(4-5),301, 2006.
- 4 : B and T Lymphocytes Are the Primary Sources of RANKL in the Bone Resorptive Lesion of Periodontal Disease : Kawai T, Matsuyama T, Hosokawa Y, Makihira S, Seki M, Karimbux N, Goncalves Y R, Valverde B P, Dibart S, Li Y P, Miranda L A, Ernst C W O, Izumi Y, Taubman M A : Am J Pathol 169 (3), 987-998, 2006.
- 5 : Application of magnetic attachment for connecting a fixed partial denture and a detachable gum part: A clinical report : Sadamori S, Makihira S, Nakai N, Hamada T : Int Chin J Dent 6, 89-92,

2006.

6 : Attaching a magnetic root coping to a fiber-reinforced post : Makihira S, Sadamori S : J Prosth Dent 96(5), 381-382, 2006.

7 : 下顎位の偏位を改善した総義歯の1症例 : 牧平清超 : 補綴誌 50, 260-263, 2006.

8 : 当診療科における高度先進医療 10年間の報告 -接着ブリッジによる欠損補綴ならびに

付田 大輔, 菅野 浩一, 牧平 清超, 藤田 隆

C

Ig

Mat

San

2 : テン

ニを 研

3 : Candida al

博 ,

技 工

田 :

の 九

長 : 第 28 口 日

- 6 : 舌・軟口蓋機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長, 上田仁美, 豊浦朋子: 日本解剖学会第 61 回中国・四国支部学術大会 (広島), 2006
- 7 : P 型 ATPase 阻害剤は成熟破骨細胞への分化を抑制する : エドユアルド修市郎小坂, 牧平清超, 尾崎加奈, 下江宰司, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 杉山 勝, 天野秀昭, 竹本俊伸, 二川浩樹 : 第 4 5 回広島県歯科医学会・第 9 0 回広島大学歯学会例会 (広島), 2006
- 8 : 顎関節機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 二川浩樹, 玉本光弘, 田嶋英明, 村山 長, 大浦慎太郎, 山口拓真, 山西恵美子, 樋山伸二, 内田 隆 : 第 111 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (神奈川), 2006
- 9 : 舌・軟口蓋機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長, 植田仁美, 豊浦朋子 : 第 39 回広島大学歯学会総会 (広島), 2006
- 1 0 : 学生によるエpiteーゼを想定した顔面マスクの製作 (ポスター発表) : 下江宰司, 田嶋英明, 牧平清超, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹, 天野秀昭, 永見美鈴 : 第 28 回日本歯科技工学会 (広島), 2006
- 1 1 : 顎関節機能模型の製作 (ポスター発表) : 里田隆博, 下江宰司, 玉本光弘, 田嶋英明, 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長 : 第 28 回日本歯科技工学会 (広島), 2006
- 1 2 : 舌・軟口蓋機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長, 上田仁美, 豊浦朋子 : 日本解剖学会第 61 回中国・四国支部学術大会 (広島), 2006
- 1 3 : 歯科技工用機器から発生する騒音に関する調査 (ポスター発表) : 玉本光弘, 下江宰司, 牧平清超, 田嶋英明, 村山 長, 里田隆博, 二川浩樹 : 第 28 回日本歯科技工学会 (広島), 2006
- 1 4 : 有床義歯のウエアラブルセンサ化による健康管理システムの研究 (ポスター発表) : 村山 長, 田嶋英明, 玉本光弘, 下江宰司, 牧平清超, 里田隆博, 二川浩樹 : 第 28 回日本歯科技工学会 (広島), 2006

F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1 : 日本歯科補綴学会研究教育研修 PRP のスキルアップセミナー 英語論文の作成 : 二川浩樹 : 補綴学会 関越支部会 (高崎), 2006
- 2 : 日本歯科補綴学会研究教育研修 PRP のスキルアップセミナー 英語論文の作成 : 二川浩樹 : 補綴学会 東関東支部会 (幕張), 2006
- 3 : 日本歯科補綴学会研究教育研修 PRP のスキルアップセミナー 英語論文の作成 : 二川浩樹 : 補綴学会 東京支部会 (東京), 2006
- 4 : 全国技工士教育協議会シンポジウム 「技工士教育における教員研修 (FD) を考える」 大学における個人評価から : 二川浩樹 : 全国技工士教育協議会総会 (名古屋), 2006

5 : 日本歯科技工学会研究教育研修 PRP のスキルアップセミナー 英語論文の作成 : 二川浩樹 : 歯技学会 中国支部 (広島), 2006

6 : 日本歯科補綴学会研究教育研修 PRP のスキルアップセミナー 英語論文の作成 : 二川浩樹 : 補綴学会 中国支部 (広島), 2006

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金（基盤研究 (C) 一般): 明石 靖史, 骨髄幹細胞からの顎骨ならびに歯胚の誘導と再生医療への応用開発. 1800 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

口腔総合診療科

(1) 職員並びに学生

教授 : 小川哲次

講師 : 田口則宏 (2006年4月～)

助教 : 田口則宏 (～2006年3月)、田中良治

研修歯科医 : 田中延仁 (～2006年3月)、吉原正人 (～2006年3月)、太田勇賢 (～2006年3月)、永田将昭 (～2006年3月)、三浦完菜 (～2006年3月)、大下涼子 (2006年4月～)、鈴木淑子 (2006年4月～)、峯岡 茜 (2006年4月～)、源 博之 (2006年4月～2006年7月)

事務補佐員 : 佐々木友枝 (2006年1月～)

(2) 主な研究活動

- 1:対話に基づく患者中心の歯科医療についての検討
- 2:総合歯科医療に関する研究
- 3:歯科医師臨床研修プログラムの検討
- 4:医療コミュニケーション技法に関する研究
- 5:臨床教育技法に関する研究
- 6:臨床技能評価法に関する研究
- 7:模擬患者の養成と標準化に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: 英国ダンディー大学歯学部における卒前歯科医学教育 : 田口則宏 : 日本歯科医学教育学会雑誌 22,47-57,2006.
- 2: 歯科医師臨床研修における ICLS 導入への取り組み—ICLS シミュレーションコースの試み—第1報— : 田中良治, 田口則宏, 小川哲次 : 日本歯科医学教育学会雑誌 22,155-160,2006.
- 3: 歯科研修医の退職時における医師賠償責任保険への加入状況, および院外研修のための傷害保険に対する加入状況 : 笹原妃佐子, 河村誠, 田口則宏, 小川哲次 : 日本歯科医学教育学会雑誌 22,42-46,2006

B) 総説

C) 著書

S, Toshinobu T: 6th Asian-Pacific Conference on PBL (Tokyo), 2006.

F) セミナー, ワークショップの開催

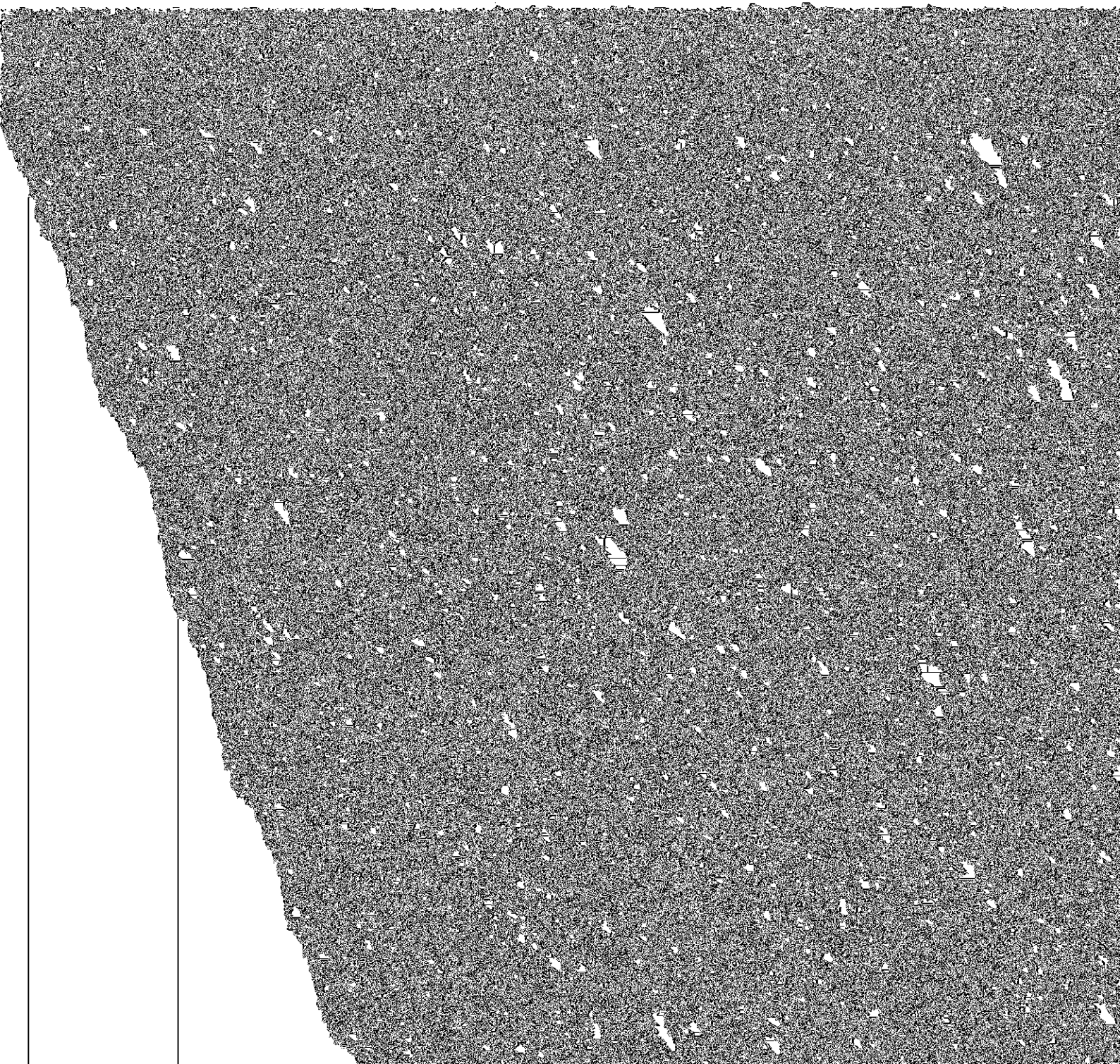
- 1: 平成 18 年度臨床研修歯科医ワークショップ (広島), 2006.
- 2: 平成 18 年度臨床研修協力型施設指導歯科医ワークショップ (広島), 2006.
- 3: 第 7 回中国四国地区指導歯科医講習会 (広島), 2006.

G) セミナー, ワークショップの発表並びにファシリテータ, タスクフォース

- 1: タスクフォース: 小川哲次, 田口則宏, 田中良治: 平成 18 年度臨床研修歯科医ワークショップ (広島), 2006.
- 2: タスクフォース: 小川哲次, 田口則宏, 田中良治: 平成 18 年度臨床研修協力型施設指導歯科医ワークショップ (広島), 2006.
- 3: 基調講演[スタートした卒後歯科臨床研修]: 田口則宏: 広島大学歯学部第一口腔外科同門会 (広島), 2006.
- 4: タスクフォース: 小川哲次, 田口則宏, 田中良治: 第 7 回中国四国地区指導歯科医講習会 (広島), 2006.
- 5: 基調講演[Portfolio-Reflection と Self-directed Learning-]: 田口則宏: 第 7 回中国四国地区指導歯科医講習会 (広島), 2006.

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許



予防歯科

(1) 職員並びに学生

講師 : 河村 誠 (科長)
助手 : 笹原妃佐子

(2) 主な研究活動

- 1 : 口腔保健に関する行動科学的研究
- 2 : 口腔保健に関する国際比較研究
- 3 : 地域歯科保健に関する研究
- 4 : 学校歯科保健に関する研究
- 5 : 歯学教育に関する研究
- 6 : 「歯周画像」診断のための CAD システムの開発

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

1. Is it possible to distinguish the understanding of denture adhesive between Japanese dental students and Indonesian peers by a questionnaire?. : Sadamori S, Hamada T, Hong G, Kawamura M, Nakai N, Razak A : Maj Ked Gigi (Dent J) 39, 89-92, 2006.
2. The hierarchical cluster analysis of oral health attitudes and behaviour using the Hiroshima University - Dental Behavioural Inventory (HU-DBI) among final year dental students in 17 countries. : Komabayashi T, Kawamura M, Kim K-J, Wright F A C, Declerck D, Goiás-Freire M C, Hu D-Y, Honkala E, Lévy G, Kalwitzki M, Polychronopoulou A, Yip K-H-K, Eli I, Kinirons M J, Petti S, Srisilapanan P, Kwan S Y L, Centore L S : International Dental Journal 56, 310-316, 2006.
3. 歯周疾患のためのコンピュータ支援診断システムの開発—歯周状態の定量的解析— : 内山良一, 河村 誠, 笹原妃佐子, 岡田 貢 : 日本医用画像工学会誌 24, 125-132, 2006.
4. 感圧シート (デンタルプレスケール®) を用いた若年者における顎関節症に関する疫学的研究 : 笹原妃佐子, 貞森紳丞, 津賀一弘, 河村 誠 : 口腔衛生学会雑誌 56, 148-155, 2006.
5. 東広島市における「親子歯科健診」事業 : 受診率および母親の歯周状態の推移 : 笹原

- 4 扁平苔癬患者に口腔ケアをおこなった1症例：河島明子，台信花菜，岩崎代利子，田村裕子，笹原妃佐子，河村 誠：第90回広島大学歯学会 &第45回広島県歯科医学会，(広島)，2006.
5. Evidence Based Practice に関する日本語版尺度の信頼性・妥当性の検討：石田貞代，岡 美智代，河村 誠：第26回日本看護科学学会学術集会，(神戸)，2006.
6. A study of an oral health promotion program for junior high school students using an intra-oral scanner system. : Amano H, Hara K, Fujimoto H, Sugiyama M, Takemoto T, Matsumoto A, Niitani Y, Nikawa H, Satoda T, Murayama T, Tamamoto M, Makihira S, Shimoe S, Kawamura M, Okada M : PDAA, (Taiwan), 2006.

- 1 1 : Portfolio : 臨床初期研修における自己主導型学習と評価 : 田口則宏, 小川哲次, 田中良治, 岡田 貢 : 第 25 回 日本歯科医学教育学会総会および記念大会 (仙台), 2006
- 1 2 : 臨床初期研修の評価法としての Advanced OSCE : 小川哲次, 田口則宏, 田中良治, 笹原妃佐子, 白井憲一, 島末 洋, 阿部泰彦, 西村正宏, 渡辺峰朗, 田口 明, 岡田 貢, 小川郁子 : 第 25 回 日本歯科医学教育学会総会および記念大会 (仙台), 2006
- 1 3 : 臨床初期研修とマッチングを課題にした臨床実習 PBL チュートリアル : 寶田 貫, 津賀一弘, 宮内美和, 田口 明, 岡田 貢, 吉野 宏, 竹本俊伸, 田口則宏, 小川哲次, 内田 隆 : 第 25 回日本歯科医学教育学会 (仙台), 2006.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

特殊歯科総合治療部 言語治療室

(1) 職員並びに学生

部長 : 香西克之 (併任)
助教 : 藤原百合

(2) 主な研究活動

- 1 : 口蓋裂言語の聴覚的評価法に関する研究
- 2 : Electropalatography(EPG)を用いた訓練方法に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : 我国におけるエレクトロパトグラフィを用いた研究の動向 : 藤原百合, 山本一郎 : 日本口蓋裂学会雑誌 31, 261-266, 2006.
- 2 : エレクトロパトグラフィを用いた構音のホームトレーニングの効果—通常の訓練で改善が難しかった症例について— : 山本一郎, 井上幸, 藤原百合 : 日本口蓋裂学会雑誌 31, 274-284, 2006.

B) 総説

- 1 : A review of Japanese articles on perceptual assessment of speech sounds in individuals with cleft palate : Y Fujiwara, G Henningson, N Ainoda : 音声言語医学 47, 252-257, 2006.
- 2 : エレクトロパトグラフィ (EPG) の過去・現在・未来 : 藤原百合, 井上幸, 村口公子, 高木なみ, 石丸満, 山本一郎 : 言語聴覚研究 3, 79-81, 2006.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : エレクトロパトグラフィ (EPG) を用いた構音のホームトレーニングの効果 : 藤原百合, 井上幸, 村口公子, 高木なみ, 石丸満, 山本一郎 : 第7回日本言語聴覚学会 (金沢), 2006.
- 2 : 我国におけるエレクトロパトグラフィを用いた研究の動向について : 藤原百合, 山本一郎 : 第30回日本口蓋裂学会 (白馬), 2006.

- 3 : 日本語音産生時の舌と口蓋の標準的接触パターン:エレクトロパラトグラフィ(EPG)による分析:藤原百合, 山本一郎, 前川圭子, 村口公子, 高木なみ, 石丸満:第51回日本音声言語医学会(京都), 2006.
- 4 : エレクトロパラトグラフィ(EPG)を用いた構音のホームトレーニングの効果—中学生になっても異常な構音操作が改善していなかった遠隔地居住症例について—:山本一郎, 藤原百合, 井上幸, 高木なみ, 石丸満:第51回日本音声言語医学会(京都), 2006.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : Daiwa Anglo-Japanese Foundation, Small Grant : Fiona Gibbon, Yuri Fujiwara, Ichiro Yamamoto : EPG Symposium in Kyoto. 500 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

口腔検査センター

(1) 職員並びに学生

センター長：高田 隆（3月まで）、二川浩樹（併任 4月から）

講師：小川郁子

助手：大上啓子（3月まで）、森田敬子（3月まで）、新谷智章（4月から）、北川
雅恵（4月から）

技術補佐員：坂野敬子

(2) 主な研究活動

- 1：塩基性抗菌ペプチドの研究
- 2：プロバイオティクスの口腔への応用
- 3：頭頸部病変の診断病理学的研究
- 4：口腔扁平上皮癌の増殖・進展に関する病理学的研究
- 5：唾液腺腫瘍の細胞分化に関する研究
- 6：VEGFR および EGFR をターゲットにした口腔癌の分子標的治療の研究
- 7：味覚異常の治療法に関する開発研究
- 8：金属アレルギーおよび口腔乾燥症に対する検査および治療に関する研究
- 9：セメント芽細胞特異的遺伝子の機能解析

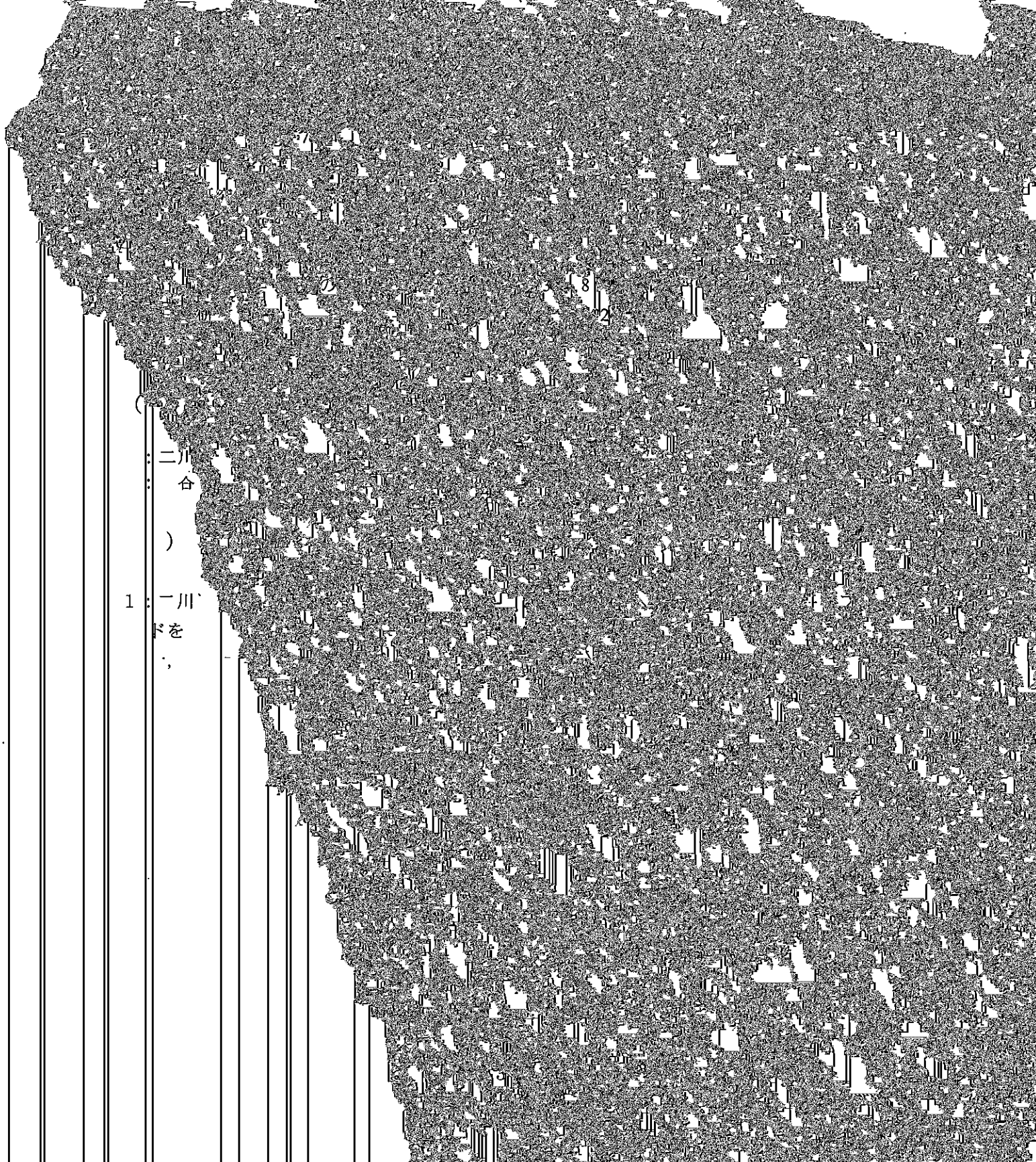
(3) 研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1：本校におけるこれまでの歯科技工士養成に関する分析と四年制移行による変化—学生に関する調査—：下江宰司，田嶋英明，玉本光弘，里田隆博，村山 長，二川浩樹，天野秀昭，妹尾輝明：日本歯科技工学会誌 27(1), 52-8, 2006.
- 2：玉本光弘，田嶋英明，下江宰司，村山 長，里田隆博，二川浩樹，天野秀昭：歯科関

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究 B 一般) : 二川浩樹 (代表, 新規) : 分子認識機構による β デフェンシンの口腔内誘導を利用した歯周病関連細菌の抑制. (課題番号 18390516),



二川
合
)
1 一川
ドを

歯科技工室

(1) 職員並びに学生

歯科技工室長 : 二川浩樹 (併任)
歯科技工士長 : 大倉啓孝
主任歯科技工士 : 山本昌信, 埴生栄作, 大谷吉広, 山本明司
歯科技工士 : 加藤了嗣
歯科技工士研修生 : 田口香織, 西川美沙, 三浦博之, 村上有紀

(2) 主な研究活動

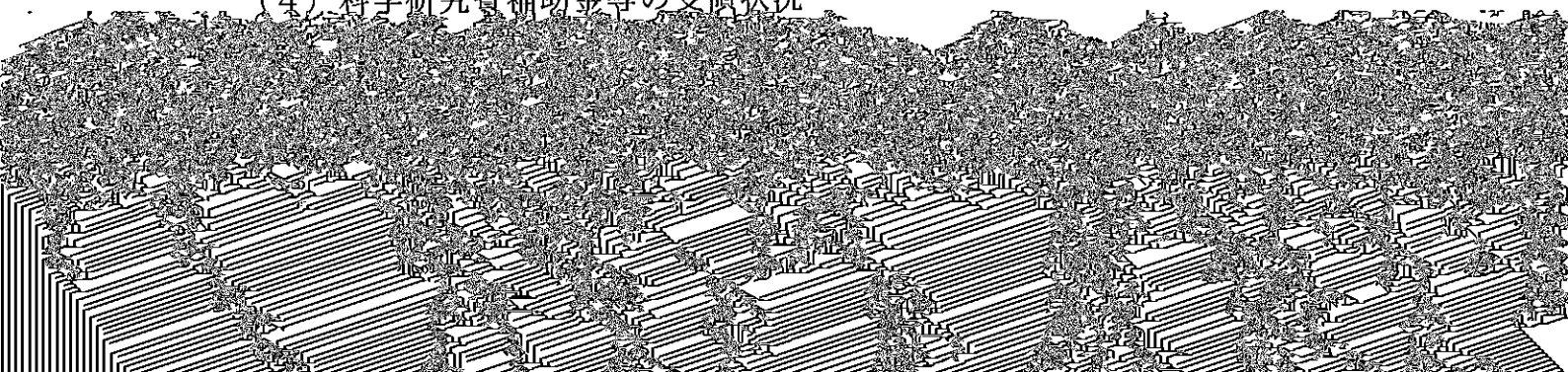
- 1 : 義歯に埋入する患者データの方法の考案
- 2 : 放射線治療補助装置 (スパーサー) の製作法
- 3 : インプラントの上部構造に関する研究
- 4 : 各種前装歯冠補綴物における審美性の追及
- 5 : 歯科鑄造物の適合性に関する研究
- 6 : 歯科技工におけるコンピュータによる情報処理に関する研究

(3) 研究業績

- A) 原著 (症例報告を含む)
- B) 総説
- C) 著書
- D) その他の出版物
- E) 学会発表

- 1 : 医療現場の健康確保を考えたペットボトル応用簡易防塵装置 : 津賀一弘, 大倉啓孝, 丸山真理子, 林 亮, 田地 豪, 岡根秀明, 赤川安正 : 第28回日本歯科技工学会 (広島) 2006

(4) 科学研究費補助金等の受領状況



(6) 特許

歯科衛生部門

(1) 職員並びに学生

歯科衛生室長 : 岡本哲治 (併任)

歯科衛生士長 : 田村裕子

主任歯科衛生士 : 岩崎代利子, 中岡美由紀

歯科衛生士 : 河島明子, 日高美穂, 畠山知子, 梶谷佳世, 下田哲子, 宮川久美, 時数智子, 松井加奈子, 矢野加奈子, 島田昌枝, 臺信花菜, 原奈緒美, 山下聖子

研修生 : 長原綾香 (2006.4~7)

(2) 主な研究活動

- 1 : 歯科衛生士が行う口腔衛生に関する研究
- 2 : 歯科衛生士教育について
- 3 : 大学病院における歯科衛生士の役割について

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : 接着性歯面コート材の臨床評価—失敗例における原因と対策— : 下田哲子, 臺信花菜, 島田昌枝, 原奈緒美, 北川解士, 柴田曉輝, 畠山知子, 矢野加奈子, 宮川久美, 山下聖子, 河島明子, 岩崎代利子, 中岡美由紀, 田村裕子, 長原綾香, 共著, 歯科衛生, 19

1 : 発達障害者における歯科的協力度に関する研究—口唇緊張と歯科的協力度との関係

— : 午野加奈子, 時数智子, 田部英樹, 林田浩一, 青木美枝, 中森輝代, 神田 拓
考歯

広島大学歯科診療所

(1) 職員並びに学生

講師 : 吉野 宏
助教 : 小原 勝

(2) 主な研究活動

- 1 : 細菌毒素
- 2 : ストレスと歯周病

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Single nucleotide polymorphism in the cytolethal distending toxin B gene confers heterogeneity in the cytotoxicity of *A. actinomycetemcomitans*. : Nishikubo S, Ohara M, Ikura M, Katayanagi K, Fujiwara T, Komatsuzawa H, Kurihara H, and Sugai M: *Infect Immun* 74, 7014-7020, 2006
- 2 : Biogenesis of *Actinobacillus actinomycetemcomitans* CDT holotoxin. : Ueno Y, Ohara M, Kawamoto T, Fujiwara T, Komatsuzawa H, Oswald E, and Sugai M : *Infect Immun* 74, 3480-3487, 2006

B) 総説

C) 著書

- 1 : 吉野 宏 : 感染症対策 ; 指導歯科医ガイドブック (田中義弘, 伊東隆利, 梅村長生 編著) 1 版, 医歯薬出版, 東京, 168-171, 2006

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 糖尿病を合併した歯周炎でのグルコルチコイドの発現ならびにインスリンの影響 : 赤崎友彦, 中村茂夫, 吉野宏, 林田浩一, 工藤靖爾, 花木清隆, 常国徳子, 永原隆吉, 柴秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 日本歯周病学会 (大阪), 2006
- 2 : Stress response system in periodontal tissues. : Tsunekuni N, Yoshino H, Hayashida K, Hanaki K, Akazaki T, Niitani M, Nakamura S, Kawaguchi H, Kurihara H. : *AAP/JSP 2006 Annual*

Meeting (San Diego), 2006

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

医療情報室

(1) 職員並びに学生

室長 : 香西克之 (兼任)
教授 : 天野秀明 (兼任)
助手 : 大塚昌彦 (兼任), 田中武志
技官 : 柳田徳栄 (兼務)

(2) 主な研究活動

- 1 : 病院情報システムの開発と運営に関する研究
- 2 : 医療情報学に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : 国際的広域災害に対応した国境を越えた EHR 連携システムの要件 : 田中武志, 石川澄, 津久間秀彦, 岩田則和, 岩崎泰昌, 池内実 : 第 26 回医療情報学連合大会論文集, 908-911, 2006.
- 2 : 個人健康情報 (PHR) の運用管理モデル再考 : 津久間秀彦, 田中武志, 岩田則和, 小西央郎, 岩崎泰昌, 坂田香代, 岩沢和男, 石川澄 : 第 26 回医療情報学連合大会論文集, 1079-1082, 2006.
- 3 : 時間軸を考慮した臨床検査データの空間配置の試行 : 岩田則和, 長田茂美, 上原祐介, 馬場孝之, 津久間秀彦, 田中武志, 池内実, 石川澄 : 第 26 回医療情報学連合大会論文集, 546-549, 2006.
- 4 : 経過記録からみた看護必要度・看護度との比較分析 : 坂田香代, 河村明江, 小谷早苗, 杉

Sainohara, M Sugimura, N Konishi, M Tooya : APAMI 2006 in conjunction with MIST 2006 Proceedings, 249-256, 2006.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 国際的広域災害に対応した国境を越えた EHR 連携システムの要件 : 田中武志, 石川澄, 津久間秀彦, 岩田則和, 岩崎泰昌, 池内実 : 第 26 回医療情報学連合大会 (札幌), 908-911, 2006.
- 2 : 個人健康情報 (PHR) の運用管理モデル再考 : 津久間秀彦, 田中武志, 岩田則和, 小西央郎, 岩崎泰昌, 坂田香代, 岩沢和男, 石川澄 : 第 26 回医療情報学連合大会 (札幌), 1079-1082, 2006.
- 3 : 時間軸を考慮した臨床検査データの空間配置の試行 : 岩田則和, 長田茂美, 上原祐介, 馬場孝之, 津久間秀彦, 田中武志, 池内実, 石川澄 : 第 26 回医療情報学連合大会 (札幌), 546-549, 2006.
- 4 : 経過記録からみた看護必要度・看護度との比較分析 : 坂田香代, 河村明江, 小谷早苗, 杉村美由紀, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志, 石川澄 : 第 26 回医療情報学連合大会 (札幌), 979-982, 2006.
- 5 : 救急・広域災害時の活動評価機能を盛り込んだ次世代救急支援情報システムの構築企画 : 石川澄, 松浦正明, 高田 佳輝, 田坂佳千, 牛尾剛士, 岩崎泰昌, 石黒満久, 宝積泰史, 津久間秀彦, 田中武志, 池内実, 岩田則和 : 第 26 回医療情報学連合大会 (札幌), 438-439, 2006.
- 6 : 医療安全面から見た病院医療情報システムの評価 : 石川澄, 津久間秀彦, 田中武志, 河村明江, 坂田香代, 杉村美由紀, 才野原照子 : 第 44 回病院管理学会学術総会 (名古屋), 2006.
- 7 : Problems on a Transborder EHR System in a Disaster in Asia-Pacific Region : T Tanaka, K Ishikawa, H Tsukuma, N Iwata, M Ikeuchi : APAMI 2006 (Taipei), 2006.
- 8 : Construction and Evaluation of EHR which Supports Team Practice : H Tsukuma, T Tanaka, K Sakata, A Kawamura, N Iwata, K Ishikawa : APAMI 2006 (Taipei), 2006.
- 9 : The Requirement of Health Record to Satisfy the Patients' Safety Management : K Ishikawa, H Ohmichi, Y Umesato, H Terasaki, H Tsukuma, N Iwata, T Tanaka, A Kawamura, K Sakata, T Sainohara, M Sugimura, N Konishi, M Tooya : APAMI 2006 (Taipei), 2006.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許